

インド通信

みやぎ海外絆大使
JICA 海外協力隊
澤村啓之

インド通信第 13 号です。

今回はインドのお金、それもお札のお話です。

インドのお札はマハトマ・ガンジー・シリーズと言って、5、10、20、50、100、200、500、2000 ルピーの合計 8 種類あります。

私はまだ 2000 ルピー紙幣に出会ったことがありません。本当に流通しているのでしょうか？でも、もし 2000 ルピー札を手にしてもどの店に行ってもお釣りがないからと嫌な顔をされるのが落ちですが。。

また、インドの公用語はヒンズー語と英語ですが、28 州ごとにそれぞれ言語が違いインド全土では何と 121 種類もの言語があるといわれています。

ですから、インドのお札には 17 言語で金額表示がなされています。表面にヒンズー語と英語の 2 種類、裏面に私の住んでいる地域のカンナダ語などの 15 種類の言語表示です。

インドの誰でもがいくらのお札なのかが分かるようにとの配慮ですが、何とも涙ぐましい努力です。

さらに、お札にはガンジーのトレードマークのメガネのイラストが印刷されています。

メガネのレンズにはヒンズー語で「スワッチ・バーラト」英語に訳すと「Clean India」と書かれています。

誰でもが手にするお札を使つての「インドクリーン作戦」を展開しているのです。お札を使って全国的なキャンペーンを繰り広げるところにインドの凄さを感じます。



500 ルピー札



200₹札



20Rs札